

ふくおかの経済

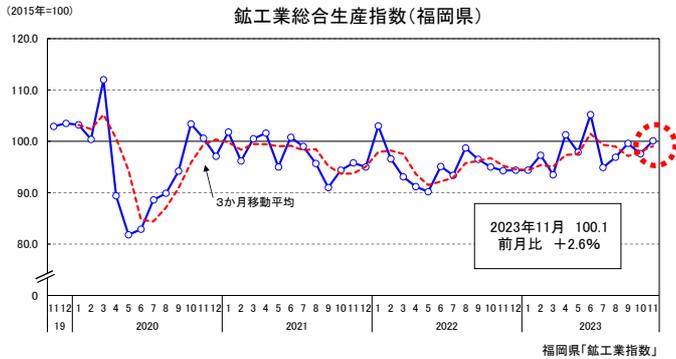
令和6年1月号



生産

持ち直しの動きがみられる。

11月の生産指数は、ゴム製品工業、汎用・生産用機械工業などが上昇したため、2か月ぶりに前月を上回りました。

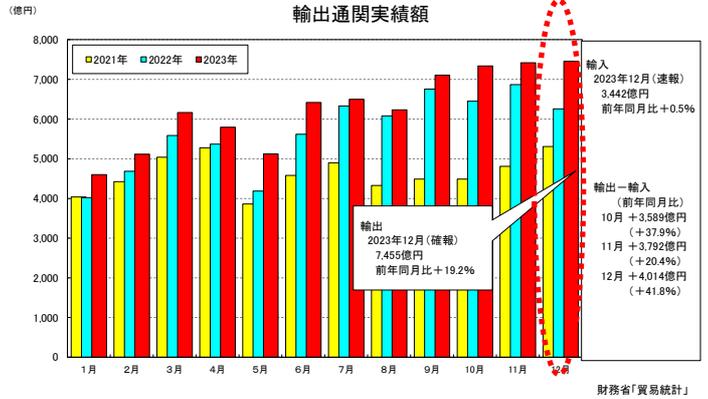


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出額、輸入額ともに、前年同月を上回っている。

12月の輸出額は、前年同月比+19.2%、輸入額は同+0.5%といずれも前年同月を上回りました。

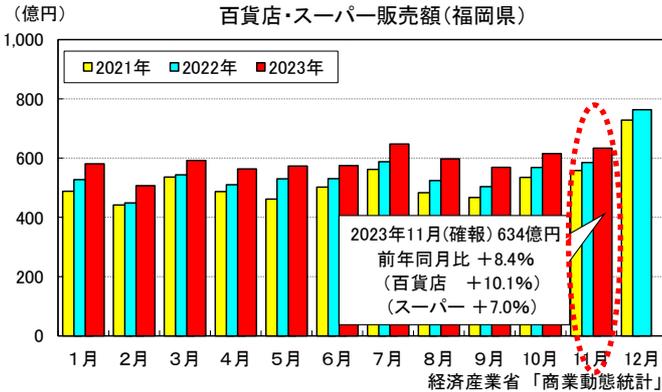


財務省「貿易統計」

消費

緩やかに回復している。

11月の百貨店・スーパー販売額は、26か月連続で前年同月を上回りました。

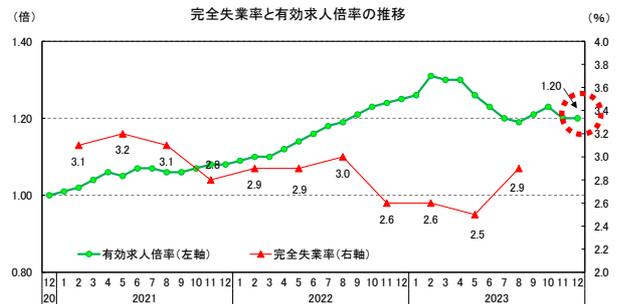


経済産業省「商業動態統計」

雇用

雇用情勢は、改善している。

12月の有効求人倍率は1.20倍で、前月と同倍となりました。



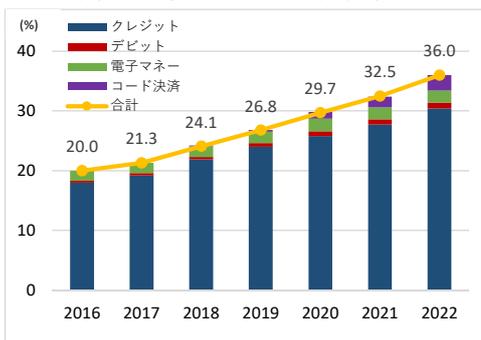
完全失業率:総務省「労働力調査」四半期平均 / 有効求人倍率:福岡労働局「雇用情勢」

「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のピックアップ キャッシュレス決済の更なる普及促進へ

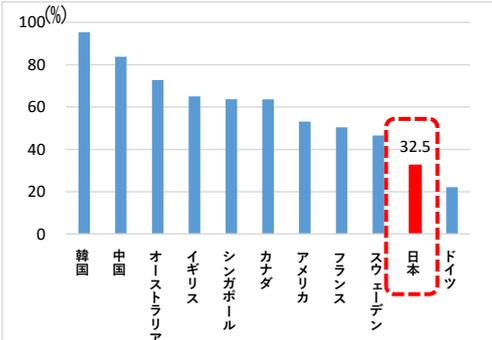
- 政府は2025年までにキャッシュレス決済率を4割程度にするという目標を掲げ、その推進に取り組んでいます。
- 日本におけるキャッシュレス決済率は年々伸びてきていますが、ATM網の充実や治安の良さ等もあり、海外と比較すると低水準に留まっています(図表1、2)。
- 現金とキャッシュレスの決済所要時間は、1回の会計で、キャッシュレスの方が16秒早く(図表3)、消費者が完全にキャッシュレス化した場合、コンビニエンスストア1店舗あたりの労働時間は一日約4時間、一か月あたりでは約115時間減少する試算があります。
- 人手不足感が高まる中、利便性の確保のためにも、更なるキャッシュレス決済の普及促進が求められています。

図表1 日本のキャッシュレス決済比率



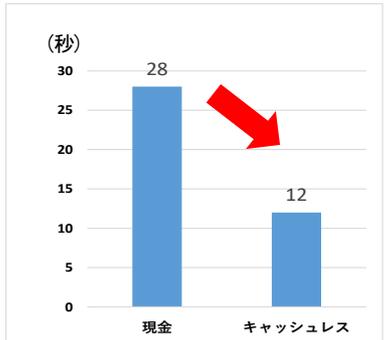
出所:経済産業省「キャッシュレス決済比率の推移(2022年)」より作成

図表2 主要国におけるキャッシュレス決済の割合(2021年)



出所:経済産業省「キャッシュレスの将来像に関する検討会」とりまとめより作成

図表3 現金とキャッシュレスの決済所要時間



出所:JOB「決済速度に関する実証実験結果」より作成
※「レジ担当者の金額口頭提示」から「商品・レシートのお渡し」までを一会計として計測